

令和5年度 旭区社会福祉協議会助成金 申請書

3. 地域の見守り支えあい活動助成金 記入例

社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会

会長 池田 宏史 様

申請	ふりがな	○△ちくしゃかいふくしきょうぎかい		ふりがな	あさひ きぼう
	団体名	○△地区社会福祉協議会		代表者氏名	旭 希望
団体	代表者	住所	〒224-0022 旭区鶴ヶ峰 1-6-35		
		電話	045-392-1123	FAX	045-392-0222
体	ふりがな	かながわ けん	電話	〇〇〇-△△△△	
	連絡担当者	神奈川 健	住所	旭区鶴ヶ峰■■■-■■■	

次の助成金について申請いたします。

<助成区分> ※申請内容にチェックを入れてください

- 1 ボランティア活動備品購入
- 2 周年事業・記念誌発行等
- 3 地域の見守り支えあい活動

千円単位で申請してください

申請金額 ￥ 30,000.-

○申請内容は、以下により、裏面に詳しくご記入ください。

1で申請の場合：購入目的、購入物品名、購入個数、購入することによる効果等

2で申請の場合：（周年事業）

実施目的、記念事業名、実施日時、実施場所、事業内容、参加者等  
（記念誌発行）

発行の目的、記念誌の内容、発行時期、部数、配布先等

3で申請の場合：事業の目的、活動の事業名、対象地区、担い手、実施時期

開催場所等

## &lt;申請内容&gt;

〇〇団地では一人暮らしの高齢者が増え、日中部屋の中で過ごす方が増えています。軽食や健康体操などを楽しみ、気軽に集まれる場（サロン活動）を集会所や地域ケアプラザで実施することで、参加を通じて住民同士の交流につながり、社会的孤立を防ぐための見守りあいや支えあい活動につなげていきます。

担い手は自治会（役員）を中心に、民生委員、保健活動推進員、老人クラブ、ボランティア予定事業名）〇〇団地 お楽しみサロン  
内容)

①日時：毎月第2水曜日 〇時～△時

②会場：〇△団地集会場、〇〇地域ケアプラザ

③対象：ひとり暮らし高齢者の方を中心にどなたでも

- ・開催予定の事業のチラシや企画案を申請書と一緒にご提出ください。
- ・既に始まっている事業に対して、過去に遡って助成を受けることはできません。また、助成決定前に支出した経費は対象外となります。助成決定前の経費については、自主財源を充当してください。

## &lt;収支予算&gt;

※収入・支出の合計額は同額になります。説明欄には、内訳・算出根拠を詳しくご記入ください

	科目	予算額(円)	説明（内訳・算出根拠）
収入	区社協助成金	30,000	
	〇△地区社協負担	2,000	賛助会費
	参加費	6,000	@100×5名×12回（予定）
収入合計		38,000	

	科目	予算額(円)	説明（内訳・算出根拠）
支出	食材費	32,000	菓子、飲み物代
	消耗品費	5,000	割り箸、ふきん、ゴミ袋他
	印刷費	1,000	周知チラシ@10×100部
支出合計		38,000	